

市長と語る会(令和2年7月29日 住吉文化センター講堂)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
1	コロナ禍では、避難所の受入可能人数も少なくなってしまうと思いますが、対策の検討状況を伺いたい。	東日本台風の際は、密集状態となった避難所もあったが、コロナ禍では、避難所の受入可能人数は少なくなってしまうことは明らかです。現在のところ、要援護者の方が避難する避難所など、避難所の性格を分けようと考えています。また、ハケ下から離れた避難所には車での避難を可能とすることで、避難者を分散することができるのではないかと考えておりますが、全ての方を受け入れるだけの避難所を確保することは難しいと思います。	防災危機管理課
2	下水処理場については、内水氾濫の危険性は高いのか伺いたい。	東京都に確認したところ、東日本台風の際は、氾濫の危険性は無かったと伺いましたが、引き続き、東京都と情報を共有してまいります。	防災危機管理課
3	自治会連合会が災害時の情報共有のためにトランシーバーを用意したと聞きました。今後、このトランシーバーを上手く活用して、市と情報共有できると良いと思います。	自治会連合会から、東京都の補助金を活用してトランシーバーを購入したことを伺いました。また、中央文化センターの5階にある自治会連合会の事務局が中心となると伺いましたので、市が自治連の事務局と情報共有させていただく場合はあると思います。また、ハケ下の自治会同士であったり、ハケ下とハケ上の自治会との連絡手段としても活用すると伺っております。	防災危機管理課
4	他の河川では、大雨の際にバックウォーターが発生したことがニュースになっている。多摩川でも発生する可能性はあるのか。	2級河川、3級河川、用水路などの合流地点で、水が逆流してしまう現象のことですが、府中市においては、総合体育館あたりの河川がL字に曲がっている場所と、南武線の鉄橋と是政橋の間に用水路の出口があり、この2か所がバックウォーターが懸念される場所です。しかし、東日本台風においては、バックウォーターは発生しませんでした。	防災危機管理課 下水道課

市長と語る会(令和2年7月29日 住吉文化センター講堂)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
5	高齢者が多く住んでおり、普段から離れた場所にある学校の位置が分からない場合も多い。また、避難する場合の交通手段も無いため、対策を検討してほしい。近くの学校を避難所として開設してほしい。	近隣の学校は、浸水想定区域にあるため、水害の場合、避難所を開設することは想定しておりません。しかしながら、切羽詰まった状況になった場合、緊急避難として学校の3階以上に避難する場合はあると考えています。 なお、2階以下に濁流が流れ込むことで孤立してしまう可能性がありますし、停電など、避難生活を送るにはリスクがあると思っております。また、仮に医療行為が必要な方がいらっしゃった場合には、救助にも行かなければならないため、最初から避難所として開設することは難しいと考えております。	防災危機管理課
6	是政のラグビー場の先にあるダムのような場所で水の流れが悪くなっている。氾濫のおそれがあるのではないかと心配だが、状況はどうか。	その場所は、大丸用水堰と言って、稲城市側に農業用水を流すために利用されているものです。このような場所は他にもあり、昭和49年には、狛江で堤防が決壊したことがありました。本市といたしましても、危険性が高い場所だと認識しております。対策の実施について、国土交通省に継続して申し入れしてまいりましたところ、5年計画での多摩川の下流から浚渫が始まっております。また、河川敷に繁茂している樹木の伐採も行うと聞いておりますので、今後は、危険性が低くなると捉えています。	防災危機管理課
7	避難の必要性があるかの判断材料として、小河内ダムの水位や、放水量を逐次、周知してほしい。	災害対策本部においては、ダムの水位や放水に関する情報を入手していたが、市民の皆様にも周知することについては、対応が難しいと思う。	防災危機管理課
8	避難所を早く開設して周知してほしい。	東日本台風の際は、職員の参集を指示した時点では、既に鉄道が計画運休していたため、職員が集まり次第、順次、避難所に向かわせるしかなかったため、開設が少し遅くなった場所があったかもしれません。今後は、この経験を踏まえ、早期に避難所を開設する予定です。	防災危機管理課
9	高層のマンションと戸建ての住宅が混在している地域のため、緊急避難として、マンションに避難できるように連絡を取ることも必要だと考えている。	地域の方々が横断的に連携を図っていただくことは良い取組だと思いますし、市が協力できることがあればお申し付けいただきたい。	防災危機管理課

市長と語る会(令和2年7月29日 住吉文化センター講堂)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
10	<p>防災行政無線の放送が聞きとりにくい場所があったが、増設などの考えはどうか。</p> <p>家庭に防災行政無線の受信器を設置することができると思いますので、災害時要援護者の家庭に配布するなど、対応を検討してほしい。</p>	<p>防災行政無線は、要望を多くいただいている。確かに聞こえにくい場所もあり、対応を考えています。災害時要援護者の方に迅速に避難していただくための場所の確保と早めの避難の呼びかけについて、必要性を強く感じています。</p> <p>(防災危機管理課長)</p> <p>現状の防災行政無線はアナログ放送ですが、今後はデジタル放送への切り替えを予定しております。デジタル化することで、音声の方向など細かい調整が可能になり、改善が図られると想定しております。しかしながら、高層の建物で反響する場所は残ると思いますので、市内全域で聞き取りやすくすることは難しいと想定しております。そのため、防災行政無線以外の情報発信にも努めてまいります。</p>	防災危機管理課
11	<p>車で避難したが、避難所に入ることができず、数か所回るようになった。また、避難者で密集しており、長時間滞在することが難しかった。</p>	<p>車で避難する方や、高齢者の方などの対応につきましては、今後は、車で避難可能な避難所や介護が必要な方や障害をお持ちの方が避難する避難所など、性格を分けようと考えています。</p>	防災危機管理課
12	<p>高齢化が進んでいるが、災害時要援護者に登録していない方がいる。このような方がいらっしゃることを市でも認識しておいてほしい。</p>	<p>(高齢者支援課長補佐)</p> <p>正確な人数は、持ち合わせていないが、障害のことなど、自分の情報が知られることを嫌がる方もいらっしゃるため、難しい課題として捉えております。</p>	高齢者支援課
13	<p>定員に達した避難所の情報を周知してほしい。</p>	<p>風雨が強い状況では、防災行政無線が聞き取りにくいこともあり、市のホームページやメール配信サービスなど、インターネットから情報を入手していただきたい。なお、東日本台風の際は、市のホームページの閲覧ができない状況になってしまいましたが、現在は解消できております。</p>	防災危機管理課 広報課